

2023年12月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2023年8月3日
東

上場会社名 マークラインズ株式会社 上場取引所
 コード番号 3901 URL <https://www.marklines.com>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 酒井 誠
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役 管理部長 (氏名) 坂井 建一 (TEL) 03-4241-3901
 四半期報告書提出予定日 2023年8月9日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 2023年12月期第2四半期の連結業績(2023年1月1日~2023年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年12月期第2四半期	2,398	16.0	972	25.1	972	23.9	671	22.6
2022年12月期第2四半期	2,066	21.8	777	35.1	785	34.8	547	39.3

(注) 包括利益 2023年12月期第2四半期 746百万円(30.1%) 2022年12月期第2四半期 574百万円(27.3%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年12月期第2四半期	50.84	50.79
2022年12月期第2四半期	41.48	41.43

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2023年12月期第2四半期	6,736	4,800	71.3
2022年12月期	6,096	4,437	72.8

(参考) 自己資本 2023年12月期第2四半期 4,800百万円 2022年12月期 4,437百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年12月期	—	0.00	—	29.00	29.00
2023年12月期	—	0.00	—	—	—
2023年12月期(予想)	—	—	—	34.00	34.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2023年12月期の連結業績予想(2023年1月1日~2023年12月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	5,000	21.2	1,900	17.0	1,900	17.1	1,300	14.1	98.38

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

新規 一社(社名) ー 、除外 一社(社名) ー
期中における重要な子会社の異動に関する注記

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用に関する注記

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

会計方針の変更に関する注記

(4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

2023年12月期2Q	13,215,200株	2022年12月期	13,215,200株
2023年12月期2Q	442株	2022年12月期	442株
2023年12月期2Q	13,214,758株	2022年12月期2Q	13,210,713株

発行済株式数に関する注記

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理性があると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、P4「(2) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(会計方針の変更)	9
(セグメント情報)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当社グループは当第2四半期連結累計期間(2023年1月1日から2023年6月30日まで)において成長戦略に挙げたテーマに取り組んでまいりました。

「情報プラットフォーム」事業については、国内において1月開催の「オートモーティブ ワールド」、海外ではEVが進む中国において4月開催の上海モーターショー2023(第20回上海国際自動車工業展覧会)へ出展し、対面営業を行いました。世界で加速するカーボンニュートラル、電動化への関心の高さから、年初より無料会員登録者数が増加(前年同期比35%増)したことに加え、営業部門におけるノウハウ共有化の進展が営業力を底上げし、新規の契約獲得は好調に推移しました。コンテンツ面においては、EV販売月報やソフトウエア・ディファインド・ビークル(SDV)連載レポートのほか、国内外で活発に開催されているセミナー・展示会を積極的に取材し、脱炭素、EV、SDVに関する情報を強化しました。また、お客様の利便性向上を目的として、ユーザーのマウスの動きを追跡し、そのログの解析結果(ヒートマップ)を基に、ユーザーインターフェースの変更を図りました。これらの結果、契約社数は前連結会計年度末から288社増加(前年同期216社増加)と好調に推移し、4,948社となりました。

分解調査データ販売事業においては、Tesla Model Y、Ford F-150など多様なメーカーから新規に市場投入されたモデルに関連するレポート販売が好調で、売上高は大きく伸びた前年同期をさらに上回りました。コンサルティング事業については、比較的高額な案件が多かったこと、及びコスト比較分析サービスの受注が好調だったこと等により、前年同期を大きく上回る結果となりました。車両・部品調達代行事業においては、車両本体など単価の高い案件が比較的少なく、二輪車(E-Bike)などの小型の案件が増加したことから売上高は前年同期を下回る結果となりました。人材紹介事業においては、ハイクラス人材に係る成約が減少したものの、自動車メーカー等のR&D技術者などミドルクラスの求人案件の成約が倍増したため、売上高は前年同期を上回る結果となりました。LMC Automotive Ltd. 製品(市場予測情報)販売事業については、契約更新企業が7割強に及び、アップセル販売も寄与した結果、売上高は前年同期を上回る結果となりました。プロモーション広告事業(LINES)については、引き続きWeb広告ツールとしての需要が好調に推移しており、売上高も安定的に増加しました。自動車ファン事業については、各組員から受け取る管理報酬の内、当社比率に応じた額を売上高として四半期ごとに計上しております。新規投資案件については、第二号投資案件(3月)、第三号投資案件(6月)を実行しました。

また、当社が運営する8事業を横串で横断的に管理し、それぞれの顧客ニーズに合わせたサービスの提供を可能とする体制構築を目的として7月1日付で営業企画部を新設しました。当該部門の活動を通して、顧客ごとの売上の最大化の推進を図ってまいります。

この結果、当社グループの当第2四半期連結累計期間における業績は売上高2,398百万円(前年同期比16.0%増加)、営業利益は、972百万円(前年同期比25.1%増加)、経常利益は、972百万円(前年同期比23.9%増加)、親会社株主に帰属する四半期純利益は、671百万円(前年同期比22.6%増加)となりました。

各セグメントの経営成績は以下の通りであります。

なお、第1四半期連結会計期間より、報告セグメントの区分を一部変更しており、当第2四半期連結累計期間の比較・分析は、変更後の区分に基づいています。

○ 事業セグメント別損益 (連結ベース)

		前第2四半期 連結累計期間 (自 2022年1月1日 至 2022年6月30日) (百万円)	当第2四半期 連結累計期間 (自 2023年1月1日 至 2023年6月30日) (百万円)	増減率 (%)
「情報プラットフォーム」事業	売上高	1,261	1,496	+18.6
	セグメント利益	743	924	+24.2
分解調査データ販売事業	売上高	145	158	+9.0
	セグメント利益	71	70	△1.0
コンサルティング事業	売上高	176	248	+41.4
	セグメント利益	32	62	+93.4
車両・部品調達代行事業	売上高	222	206	△6.9
	セグメント利益	33	37	+11.2
人材紹介事業	売上高	84	97	+15.2
	セグメント利益	29	43	+47.1
プロモーション広告事業	売上高	39	43	+9.2
	セグメント利益	35	37	+7.1
LMC Automotive Ltd. 製品 (市場予測情報) 販売事業	売上高	118	127	+8.0
	セグメント利益	31	37	+20.9
自動車ファンド事業	売上高	19	19	+0.0
	セグメント利益	0	0	+18.7
売上高 計		2,066	2,398	+16.0
セグメント利益 計 ①		977	1,213	+24.2
部門共通費 ②		△199	△240	-
営業利益 計 ①-②		777	972	+25.1

- 「情報プラットフォーム」事業：売上高1,496百万円（前年同期比18.6%増加）、セグメント利益（営業利益）924百万円（前年同期比24.2%増加）

当第2四半期連結累計期間における「情報プラットフォーム」契約社数は前連結会計年度末から288社増加（前年同期216社増加）の4,948社となりました。北米、タイ、中国など自動車産業において重要地域と位置付けられる国々を中心にグローバルで契約社数が増加しました。地域別の売上高としては、第1四半期に続き、北米とアジア地域において30%を超える伸びとなりました。また、顧客情報の社内共有化と業務のスピードアップのため、プログラミングが不要で導入が比較的容易なローコードツール（「Kintone」）を6月末までに導入し、社内データベースの一本化とペーパーレス化を同時に進めております。

○ 「情報プラットフォーム」事業地域別売上高

地域	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年1月1日 至 2022年6月30日) (百万円)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年1月1日 至 2023年6月30日) (百万円)	増減率(%)
日本	580	630	+8.5
中国	225	263	+16.5
アジア	187	251	+34.2
北米	128	175	+37.0
欧州	131	166	+26.2
その他	7	9	+24.7
合計	1,261	1,496	+18.6

- 分解調査データ販売事業：売上高158百万円（前年同期比9.0%増加）、セグメント利益（営業利益）70百万円（前年同期比1.0%減少）

当第2四半期連結累計期間における分解調査データ販売事業は、Tesla Model Y、Ford F-150、Rivian R1Tなど

新モデルに係るレポートの販売が好調に推移しました。また、CADデータ販売も業績に寄与し、売上高は好調であった前年同期を上回りました。一方で、限界利益率の高い内製レポートの販売開始が第3四半期にずれ込んだことにより、営業利益は前年同期比で微減となりました。

- コンサルティング事業：売上高248百万円（前年同期比41.4%増加）、セグメント利益（営業利益）62百万円（前年同期比93.4%増加）

当第2四半期連結累計期間のコンサルティング事業については、大手自動車メーカーからの信頼の高まりを背景に、コスト比較分析サービスの受注は好調に推移しました。また、前期末より提供を開始したECUベンチマークは、デジタル顕微鏡など設備投資の効果もあり、高額案件の受注獲得に成功しました。この結果、売上高は前年同期を大幅に上回りました。営業利益については、継続した外注価格の見直しや内製化の推進により前年同期比93.4%の増加となりました。

- 車両・部品調達代行事業：売上高206百万円（前年同期比6.9%減少）、セグメント利益（営業利益）37百万円（前年同期比11.2%増加）

当第2四半期連結累計期間における車両・部品調達代行事業は、車両本体の受注案件が比較的少なく、小型な案件の占める割合が増加したことから売上高は前年同期比6.9%の減少となりましたが、前年同期との比較で利益率の高い案件が多くを占めたため、営業利益は前年同期比11.2%の増加となりました。

- 人材紹介事業：売上高97百万円（前年同期比15.2%増加）、セグメント利益（営業利益）43百万円（前年同期比47.1%増加）

当第2四半期連結累計期間の人材紹介事業は、成約件数50件（前年同期40件）となりました。前年同期と比較して、ハイクラス人材の成約が減少したものの、自動車メーカーなどへのR&D技術者の成約が倍増するとともに固定費減少の効果も相まって、営業利益は前年同期を大きく上回る結果となりました。また、新たに人材登録システムを構築し、大手企業に所属する経験豊富なシニア層を国内中堅・海外企業に紹介するサービス提供を開始しました。

- プロモーション広告事業：売上高43百万円（前年同期比9.2%増加）、セグメント利益（営業利益）37百万円（前年同期比7.1%増加）

当第2四半期連結累計期間のプロモーション広告事業は、引き続きWeb広告ツールとしての注目度が高く、新規顧客の獲得が進むとともに、既存顧客からのリピート案件も増加傾向にあり売上高、営業利益ともに前年同期を上回りました。また、当期6月末の受注残高は前期6月末との比較で42.5%増の22百万円まで積みあがっており、第3四半期以降の売上高に寄与する見込みであります。

- LMC Automotive Ltd. 製品（市場予測情報）販売事業：売上高127百万円（前年同期比8.0%増加）、セグメント利益（営業利益）37百万円（前年同期比20.9%増加）

当第2四半期連結累計期間のLMC Automotive Ltd. 製品（市場予測情報）販売事業は、継続して高い契約更新率を維持し、一部の顧客のアップセル効果も業績向上に寄与しました。さらに、当サービスの紹介ページ改修に伴い引き合いが増加した効果もあり売上高は前年同期比8.0%の増加となりました。営業利益に関しては、固定費の減少もあり前年同期を大きく上回る結果となりました。

- 自動車ファンド事業：売上高19百万円（前年同期比0.0%増加）、セグメント利益（営業利益）0百万円（前年同期比18.7%増加）

当第2四半期連結累計期間の自動車ファンド事業は、3月に第二号案件（海外投資第一号案件）として、音声認識ソフトウェア技術を開発しているスタートアップ企業Kardome Technology LTD.（所在地：イスラエル、テルアビブ市、CEO Dani Cherkassky）へ1百万USドルの出資を行いました。6月には第三号案件として、HMI（人と機械のインターフェース）向けの電子回路内蔵成形品のプロセス技術（IMSE技術）を開発しているTacto Tek Oy.（所在地：フィンランド、CEO Jussi Harvela）へ1.6百万ユーロの出資を行いました。

(2) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2023年2月9日に公表しました2023年12月期の通期の連結業績予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年12月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2023年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	4,752,630	5,168,615
売掛金	313,815	208,350
商品	10,039	14,541
仕掛品	874	3,360
前渡金	31,527	22,539
前払費用	29,676	26,950
その他	8,343	10,419
貸倒引当金	△3,118	△2,154
流動資産合計	5,143,788	5,452,623
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	26,944	38,770
減価償却累計額	△8,222	△9,476
建物及び構築物（純額）	18,722	29,293
土地	348,997	367,047
建設仮勘定	-	2,800
その他	50,562	66,186
減価償却累計額	△40,827	△44,836
その他（純額）	9,735	21,349
有形固定資産合計	377,455	420,491
無形固定資産		
ソフトウェア	25,423	32,423
その他	8,130	11,099
無形固定資産合計	33,553	43,522
投資その他の資産		
投資有価証券	395,345	700,896
破産更生債権等	752	2,562
長期前払費用	604	58
敷金及び保証金	98,289	99,215
繰延税金資産	47,786	20,255
貸倒引当金	△752	△2,793
投資その他の資産合計	542,025	820,193
固定資産合計	953,034	1,284,207
資産合計	6,096,822	6,736,830

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年12月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2023年6月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	77,803	63,512
未払金	14,207	12,413
未払費用	42,552	38,995
未払法人税等	266,715	284,373
未払消費税等	46,543	43,941
前受金	1,159,956	1,434,323
役員賞与引当金	11,000	6,500
預り金	20,731	24,159
賞与引当金	12,151	18,391
その他	44	-
流動負債合計	1,651,705	1,926,612
固定負債		
退職給付に係る負債	7,949	9,652
固定負債合計	7,949	9,652
負債合計	1,659,654	1,936,265
純資産の部		
株主資本		
資本金	371,351	371,351
資本剰余金	289,158	289,158
利益剰余金	3,751,539	4,040,128
自己株式	△784	△784
株主資本合計	4,411,265	4,699,854
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△12,213	36,613
為替換算調整勘定	38,115	64,097
その他の包括利益累計額合計	25,902	100,711
純資産合計	4,437,168	4,800,565
負債純資産合計	6,096,822	6,736,830

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年1月1日 至 2022年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年1月1日 至 2023年6月30日)
売上高	2,066,884	2,398,115
売上原価	765,786	837,533
売上総利益	1,301,097	1,560,582
販売費及び一般管理費		
販売促進費	12,998	11,253
販売手数料	454	190
広告宣伝費	7,488	8,066
役員報酬	27,619	28,020
給料及び手当	253,213	287,761
賞与引当金繰入額	9,948	10,772
退職給付費用	5,427	7,130
法定福利費	42,720	49,996
減価償却費	4,498	4,751
貸倒引当金繰入額	101	1,077
賃借料	34,907	37,379
その他	124,180	141,205
販売費及び一般管理費合計	523,560	587,605
営業利益	777,537	972,976
営業外収益		
受取利息	2,797	3,364
受取配当金	3,152	3,513
為替差益	11,219	892
その他	1,543	2,941
営業外収益合計	18,713	10,711
営業外費用		
持分法による投資損失	10,696	10,699
その他	221	0
営業外費用合計	10,918	10,699
経常利益	785,332	972,989
税金等調整前四半期純利益	785,332	972,989
法人税、住民税及び事業税	226,043	291,065
法人税等調整額	11,300	10,106
法人税等合計	237,343	301,172
四半期純利益	547,988	671,816
親会社株主に帰属する四半期純利益	547,988	671,816

四半期連結包括利益計算書
第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年1月1日 至 2022年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年1月1日 至 2023年6月30日)
四半期純利益	547,988	671,816
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△7,444	48,826
為替換算調整勘定	33,460	25,981
その他の包括利益合計	26,016	74,808
四半期包括利益	574,004	746,625
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	574,004	746,625

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

「時価の算定に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第31号 2021年6月17日。以下「時価算定会計基準適用指針」という。)を第1四半期連結会計期間の期首から適用し、時価算定会計基準適用指針第27-2項に定める経過的な取扱いに従って、時価算定会計基準適用指針が定める新たな会計方針を将来にわたって適用することとしております。なお、これによる四半期連結財務諸表に与える影響はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自 2022年1月1日 至 2022年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント					
	「情報プラットフォーム」事業	分解調査データ販売事業	コンサルティング事業	車両・部品調達代行事業	人材紹介事業	プロモーション広告事業
売上高						
外部顧客への売上高	1,261,475	145,264	176,009	222,363	84,466	39,844
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	1,261,475	145,264	176,009	222,363	84,466	39,844
セグメント利益	743,763	71,211	32,176	33,647	29,298	35,264
	報告セグメント			調整額(注1)	四半期連結損益計算書計上額(注2)	
	LMC Automotive Ltd. 製品(市場予測情報)販売事業	自動車ファンド事業	計			
売上高						
外部顧客への売上高	118,022	19,438	2,066,884	—	2,066,884	
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—	
計	118,022	19,438	2,066,884	—	2,066,884	
セグメント利益	31,198	570	977,130	△199,593	777,537	

(注) 1. セグメント利益の調整額△199,593千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であり、各報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

Ⅱ 当第2四半期連結累計期間(自 2023年1月1日 至 2023年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント					
	「情報プラットフォーム」事業	分解調査データ販売事業	コンサルティング事業	車両・部品調達代行事業	人材紹介事業	プロモーション広告事業
売上高						
外部顧客への売上高	1,496,141	158,390	248,914	206,933	97,338	43,521
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	1,496,141	158,390	248,914	206,933	97,338	43,521
セグメント利益	924,074	70,507	62,234	37,399	43,094	37,757
	報告セグメント			調整額 (注1)	四半期連結損益 計算書計上額 (注2)	
	LMC Automotive Ltd. 製品(市場予測情報)販売事業	自動車ファンド事業	計			
売上高						
外部顧客への売上高	127,436	19,438	2,398,115	—	2,398,115	
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—	
計	127,436	19,438	2,398,115	—	2,398,115	
セグメント利益	37,705	677	1,213,451	△240,474	972,976	

(注) 1. セグメント利益の調整額△240,474千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であり、各報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

3. 報告セグメントの変更等に関する事項

「ベンチマーキング関連事業」は、「分解調査データ販売事業」及び「車両・部品調達代行事業」の2事業から構成されておりましたが、それぞれの事業の量的・質的重要性が高まったことから、第1四半期連結会計期間より報告セグメントを従来の「ベンチマーキング関連事業」から、「分解調査データ販売事業」「車両・部品調達代行事業」に変更しております。

なお、前第2四半期連結累計期間のセグメント情報については、変更後の区分方法により作成したものを記載しております。